質問１「発達障害児にみられる自傷行動についてはどのように捉え、どのように対応すればよいでしょうか」

発達障害の程度にもよります。比較的軽症の発達障害の場合には、先日の講演の内容はそのまま活用できます。具体的な方法としては、拙書「自傷行為の理解と援助」（日本評論社, 2009）をお読みください。

知的障害も伴う重篤な発達障害の場合は、それとは少し異なる対応が必要です。私は発達障害を専門としているわけではないので、詳述は避けたいと思いますが、私が2005年に刊行した以下の訳書は参考になる情報があるかと思います。

バレント・ウォルシュ&ポール・M・ローゼン著　松本・山口訳「自傷行為―実証的研究と治療指針」（金剛出版, 2005）

http://www.amazon.co.jp/%E8%87%AA%E5%82%B7%E8%A1%8C%E7%82%BA%E2%80%95%E5%AE%

9F%E8%A8%BC%E7%9A%84%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%81%A8%E6%B2%BB%E7%99%82%E6%8C%87%E

9%87%9D-%E3%83%90%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%83%88%E3%83%BBW-%E3%82%A6%E3%82%A9%E3

%83%AB%E3%82%B7%E3%83%A5/dp/4772408568/ref=sr\_1\_27?s=books&ie=UTF8&qid=14319

26714&sr=1-27

質問２「仲間との組織作りが重要だということですが、円滑にチーム内の連携を強くするために、どのように問題をとりあげ、共有すればよいのか」

自傷に関する知識・理解の水準がチーム内で統一がとれている必要があります。自傷に関する勉強会を開くとともに、私の訳書「学校における自傷予防」の付録品のDVD（生徒用・教師用合わせて30分くらい）を職場内で視聴する機会を作るのがよいと思います。

http://www.amazon.co.jp/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%

8B%E8%87%AA%E5%82%B7%E4%BA%88%E9%98%B2%E2%80%95%E3%80%8E%E8%87%AA%E5%82%B7%E

3%81%AE%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%80%8F%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83

%A9%E3%83%A0%E5%AE%9F%E6%96%BD%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB-

%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%A4%E3%82%B3%E3%83%96-%E3%83%80%E3%82%B0%E3%83%A9%E3

%82%B9/dp/4772411747/ref=sr\_1\_19?s=books&ie=UTF8&qid=1431926709&sr=1-19